顎骨壊死予防のための連携用紙（歯科⇒医科）

＿＿＿＿＿＿＿医院・クリニック

＿＿＿＿＿＿＿先生

平成＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

歯科医院名＿＿＿＿＿＿＿＿＿

歯科医師氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

|  |
| --- |
| 患者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　男　女　　　　　年齢 |

|  |
| --- |
| 傷病名　○齲歯（部位　　）　○歯周病（部位　　）　〇そのほか（　　　　　　　　） |
| 紹介目的　上記患者は外科的処置が必要です。以下についてご教示いただければ幸いです。  　　　　　休薬の可ないし不可についてもご教示お願い申し上げます。   1. 骨密度　②過去の骨折歴 2. BP製剤、デノスマブの投与歴　④リスクファクターの有無   ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿  医科からの返事  上記患者についてご回答申し上げます。  医科傷病名　○骨粗鬆症　○骨密度低下   1. 骨密度（YAM　　　　　％）評価部位（　　　　　　）（　　　　年　　　月） 2. 過去の骨折歴　椎体骨折（　　　　　　　）大腿骨頸部骨折（－・+）   橈骨遠位端骨折（－・+）　肋骨骨折（－・+）上腕骨近位端骨折（－・+）   1. BP製剤、デノスマブの投与歴   BP　＿＿＿＿＿＿＿　　　　　年　　月～　　　年　　月  デノスマブ　　　　　　　　　年　　月～　　　年　　月   1. リスクファクター　　DM（－、+）　ステロイド投与（－、+）　RA（－、+）   　大腿骨頸部骨折の家族歴（－、+）  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| コメント |
| 医科傷病名とご返事にご記入の上、ご返事の診療情報提供書に添付していただければ幸いです。（申し訳ありませんが貴院でもコピーして保存してください。）  休薬　〇可　〇不可  不可の理由  北九州臨床整形外科医会　北九州市歯科医師会（2017.9作成） |